

安全・適正就業だより



☆☆☆☆

いつまでも 働く喜び 無事故から

☆☆☆☆

令和3年度「安全就業指導員会議」より

主催 全国シルバー人材センター事業協会

1 事故には必ず原因がある

労働災害は、物的原因（危険な環境、危険な用具など）と人的原因（不安全な行動）が合わさった時に起きます。

※言い換えれば、例え危険な作業であっても、事前にそれを取り除いたり小さくしたりすることによって、事故を防止することができるということです。

2 高齢者の生理的特性

高齢になると、特に「視覚と聴覚」の値が低くなっていく。特に、聴覚では高い音と人混みの中で一つの音を聞く力が低下していく。

3 認知、判断、行動の特徴

- 情報処理の誤り（読み違い、勘違い）
- 判断の甘さ（この程度なら大丈夫）
- 習慣的な動作（何時もやっているから）
- 注意の限界（うっかり、ぼんやり）
- 省略行為（急ぎ、面倒、思い込み）
- 認知的不協和への対応（こじつけ解釈）
- 権威（先生、先輩が言うから）
- 同調行動（みんながそうしているから）

4 「人」は誰でもエラーをする

そうしようとしたが違う行動をしてしまった、思い込みや癖で間違った行動をとってしまった、ついうっかり忘れてしまっただけで出来なかったなどの、エラーをしてしまう事があるので注意する。

5 転倒災害の原因

- 滑り 床が滑りやすい素材でできていたり、油や水の飛散、滑りやすい靴の着用
 - ※やわらかく底の減っていない靴を着用する
- つまずき 余暇の凸凹や段差、放置された荷物や商品
- 踏み出し 大きな荷物を抱えるなどして、足元が見えない状態での作業



高齢者が転倒して骨折すると、完治しなかったりそのまま動けなくなったりする例が多くあります。十分に注意しましょう

転倒災害防止のため次のことをチェックして下さい

(ご参考まで)

- 通路、階段、出口に物を放置していませんか？
 - 床の水たまりや油などの飛散を、そのままにいませんか？
 - 作業するのに十分な明るさ（照度）がありますか？
 - 作業に合った靴を着用していますか？
 - 普段から（仕事前に）滑りやすい場所をチェックしていますか？
 - 自分の経験やヒヤリハット情報を参考にして、危険個所マップなど作成して周知していますか？
 - ポケットに手を入れたまま歩かないように注意していますか？
 - ストレッチ体操や転倒予防のための運動をしていますか？
-

交通事故の防止

- 交通ルールやマナーを守って運転する
- 乗る前に車の点検と自分の健康チェックをする
- 車には死角があるので注意する
- 適度な車間距離をとって運転する
- 前の車の動きに注意する
- ミラーだけでなく直視する

※普段から、「事故を起こさないのが上手な運転」だということを認識しましょう

////////////////////////////////////

秩父FMラジオに出演しました

2月18日、3名（委員長・副委員長）で出演し、シルバー人材センターと安全委員会の活動についての紹介と、楽しく活動している様子をPRし、入会へのお誘いを致しました。



秩父市シルバー人材センター 安全・適正就業委員会
秩父市野坂町1-13-14 電話 22-4454